

わずか 1 週間という短い研修旅行、そこで私はたくさんのことを学び大きく成長することができたと感じています。日本が恋しくなる場面も何度もありましたが、今では全て良いものとして、大学生活での一生忘れられない思い出ができました。

●培花女子大学での様々な韓国伝統文化実習や日本語授業参観について

私たちが 2 日間通わせていただいた培花女子大学では、日本語通訳科の授業に参加させてもらい学生たちとの交流を楽しんだり、その内容とはうってかわって、日本語の全く話せない伝統調理学科の学生と一緒にタルトを作る製菓実習、培花の先生に韓国の料理トッポキを作っていたいただいた調理実習、韓国伝統の金箔について学ぶ金箔実習、韓国の結婚式の衣装を着せていただいた韓服の着付けなど、韓国の伝統が盛りだくさんな時間を過ごしました。



この写真は、日本語通訳科の学生との集合写真です。

皆さん日本語を専攻しているだけあって、まだたどたどしくはありますが、とても日本語が上手でした。日本が好きだと言って、日本についての質問をたくさん準備してくれていました。

製菓実習では、日本語の全く話せない学生との交流でした。身振り手振りでのコミュニケーションで日本語通訳科の学生が通訳をしてくれましたが、私はここぞとばかりに自分で学んできた簡単な韓国語を使って会話をしました。気持ちが伝わった時の嬉しさは、言葉では表せません。なかなかない機会、すごく為になる時間でした。



韓国の食べ物といたら一度は聞いたことのあるトッポキ。私は今回初めて本場の味を味わいました。上の写真の左上が一般的なコチュジャントッポキ、右上が牛肉と醤油ベースの宮廷トッポキ、下が最近若者に人気のあるカルボナーラトッポキです。自分的には、日本人の私たちの口に合うようにと辛さを控えめにケチャップで赤みをつけてくださったコチュジャントッポキが一番美味しかったです。辛さが控えめと言ってもさすが韓国で、ものすごく辛いです。



この写真から見て分かるように、今回は韓国の伝統婚礼の韓服を着せていただきました。前に座っているふたりが新郎と新婦で、新婦の衣装は中に何枚も何枚も服を着ています。新婦の衣装を着た友人は、体がすごく重たいと言っていました。なかなか韓国の伝統衣装を着るという機会はないので、すごく良い経験となりました。

#### ●ホームステイ体験

私がホームステイをしたのは、培花の日本語通訳科 1 年生のヒジンさんのお家です。ヒジンさんのご家族は、お父さんとお母さん、小学 4 年生の弟さんのいる 4 人家族でした。

私自身外国でのホームステイというのが初めてだったので、不安と心配をたくさん抱えながらホストファミリーと対面しましたが、皆さん最初から笑顔で迎え入れてくださり、一

瞬で不安も消え、楽しいホームステイを過ごすことができました。ヒジンさんのご家族は日本語を全く話すことができず、ヒジンさんの通訳と、私の簡単な韓国語で会話をしたりしました。お父さんもお母さんもお忙しく、なかなか一緒に過ごすことはできなかったのですが、今回の研修旅行で私が楽しみにしていたことのひとつ、韓国の家庭料理として、お母さんがお忙しい中朝ごはんを作ってくださいました。あまり辛いものをと、チャプチェとキムチチゲ、韓国の卵焼きを作ってくださいました。韓国のお母さんの味、すごく美味しくて感動しました。

ホームステイでは、ヒジンさんと彼女の友人の方々と過ごす時間が多く、一緒に買い物をしたり遊園地に行ったり、個人の旅行では体験することのできない、韓国の子大生の休日を満喫することができました。ガイドブックには載っていないスポットに連れて行ってもらったり、そういったところが普通の旅行との違いだな、と感じた瞬間でした。

今ではヒジンさんは、かけがえのない友人で、忘れられない思い出をたくさん作ってくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。



#### ●学外施設見学

ここでは培花女子大学の真下に位置する培花幼稚園の見学、韓国の歴史について学んだ民俗村や博物館、ワールドカップが行われたソウルワールドカップ競技場の見学、韓国の伝統芸術を鑑賞できる KOREA HOUSE などを訪問しました。



私がこども学科ということもあって、幼稚園見学はものすごく貴重な時間で、一番印象に残っている場所です。日本の幼稚園との違いはどんなところなのか、韓国の幼稚園では子どもたちはどう過ごしているのか、など気になることはたくさんありましたが、まずどんな国でも子どもたちは可愛らしいな、ということに気付かされ、笑顔にさせられました。実際のところ大きな違いはあまりなく、子どもたちは元気にのびのび走り回っていました。あえて言うならひとつ気になったところは、保育者の服装です。日本の幼稚園では動きやすいように上下ジャージ、髪の毛は子どもにかからないようにピシッとまとめ、しないところは化粧もしない、というのが先生として当たり前になっています。しかし韓国では、ミニスカートにジャケット、長い髪をそのままおろし、ぱっちり化粧をしたのです。失礼とは思いながらも園長先生に伺ってみたところ、その日は私たちがお客様として来るからだそうで、普段はもう少しラフな格好をしているそうです。しかし先生方がオシャレをすると、一番喜ぶのが子どもたちなんだとか、自分の先生が綺麗だと嬉しいと言ってくれるらしいです。その話を聞いて、そういった考え方もあるんだな、と感じました。

私にとって今回培花幼稚園で学んだことは大きく、将来保育者になるにあたってすごく勉強になることがたくさんありました。自分が保育者になった時、今回得たことを自分の保育に役立てていきたいと考えます。

研修全体を通して、日本に帰ってきた私はまた一步成長できたかな、と感じています。この研修に参加したことは、他の人にはない知識を得て、自分の将来に役立たせることができる、そんな素晴らしい面をあげられます。そして、中学生の頃から興味を抱いていた韓国の文化・歴史について、ホームステイや様々な体験を通して、さらに深く知ることができました。結論、この研修に参加したことは私を大きく変えてくれる糧となりました。この研修旅行で学んだ様々なことを、これからの残りの大学生活、これからの自分の人生に活かしていきたいです。